

かかりつけ薬剤師を決めよう

庭先のアジサイも雨にぬれて色濃く映える季節となりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？

今年は2年ぶりの診療報酬の改定があり「お薬との付き合い方」も少し変わっています。

今回の改定では、薬の値段や薬局から受けていただくサポートの仕組み

が見直されました。

その中でも、特に知っていたいただきたいのが『かかりつけ薬剤師』の制度です。かかりつけ薬剤師はあなたの暮らしの中で薬や体調のことを継続して見守る「薬のパートナー」です。

いつもの薬剤師が、飲んでいる薬や健康状態を細やかに把握して飲み合わせや副作用の心配がないかなどを丁寧に確認します。

「最近眠れないの」

「便秘がちで」

など、ほんの小さな変化や悩みもその都度、相談してください。その声に耳を傾け、飲んでい

る薬や状態を確認し、必要があれば医師への相談のお手伝いもします。

また、複数の病院にかかっている方や飲んでい



は、薬の管理も負担になりがちです。かかりつけ

の薬剤師が、飲んでる薬を一元化し、重複を防ぎ、しっかりと飲めるようにお手伝いもします。

今回の改定ではこのよ

うな継続的な支援が評価されるようになり、安全に安心して薬物治療が続けられるような環境が整えられています。

「私もお願いしてみようかしら」と思われたら、いつもの薬局で「かかりつけ薬剤師をお願いします」とお声掛けください。

制度の内容や受けられるサポートなどについては、薬剤師が分かりやすく説明いたします。

梅雨明けのころには、夏のヒマワリの花のように皆さまの笑顔が咲き誇りますように。

(薬剤師 西 美香)

薬話

[127]

松阪地区薬剤師会

▼6面「脳トレ」漢字の読み書き」の答え①たいぼろ②ふんぼ③格闘④健脚
▼「脳トレ」虫食い漢字」の答え①酷②暑③酷暑